

参加費
無料

原子力政策の動向と NUMOの取り組みについて

政府は今年度、中長期的なエネルギー政策の指針となる「エネルギー基本計画」を見直す方針を打ち出し、原子力発電の利活用をめぐる議論の行方が注目を集めています。本講演では、原子力政策に関する足下の動向について解説を行うほか、高レベル放射性廃棄物の最終処分に向けた取り組みを説明することで、原子力発電に関して網羅的に理解を深めます。この機会にぜひご聴講ください。

第1部

原子力政策の動向

講師：九州電力株式会社

執行役員 福岡支店長 江口洋之 氏



第2部

高レベル放射性廃棄物の最終処分に向けた取り組み

講師：原子力発電環境整備機構（NUMO）

地域交流部長 岩崎 聡 氏

原子力発電環境整備機構（NUMO）とは、「特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律」に基づき設立された法人で、高レベル放射性廃棄物などの最終処分地の選定調査、建設・操業、閉鎖後の管理及び全国・地域での対話・広報活動、技術開発など、地層処分に関する事業の実施主体です。

令和6年

7月25日（木） 14:00-15:30

会場

福岡商工会議所
5階 501会議室

（福岡市博多区博多駅前2-9-28）

定員

50名（先着順）

申込方法

右記二次元バーコードからお申し込みください。

▶ 申込締切：7月22日（月）



※ご入力いただきました情報は、商工会議所からの各種連絡のために利用するほか、参加者の統計調査分析のために利用することがあります。